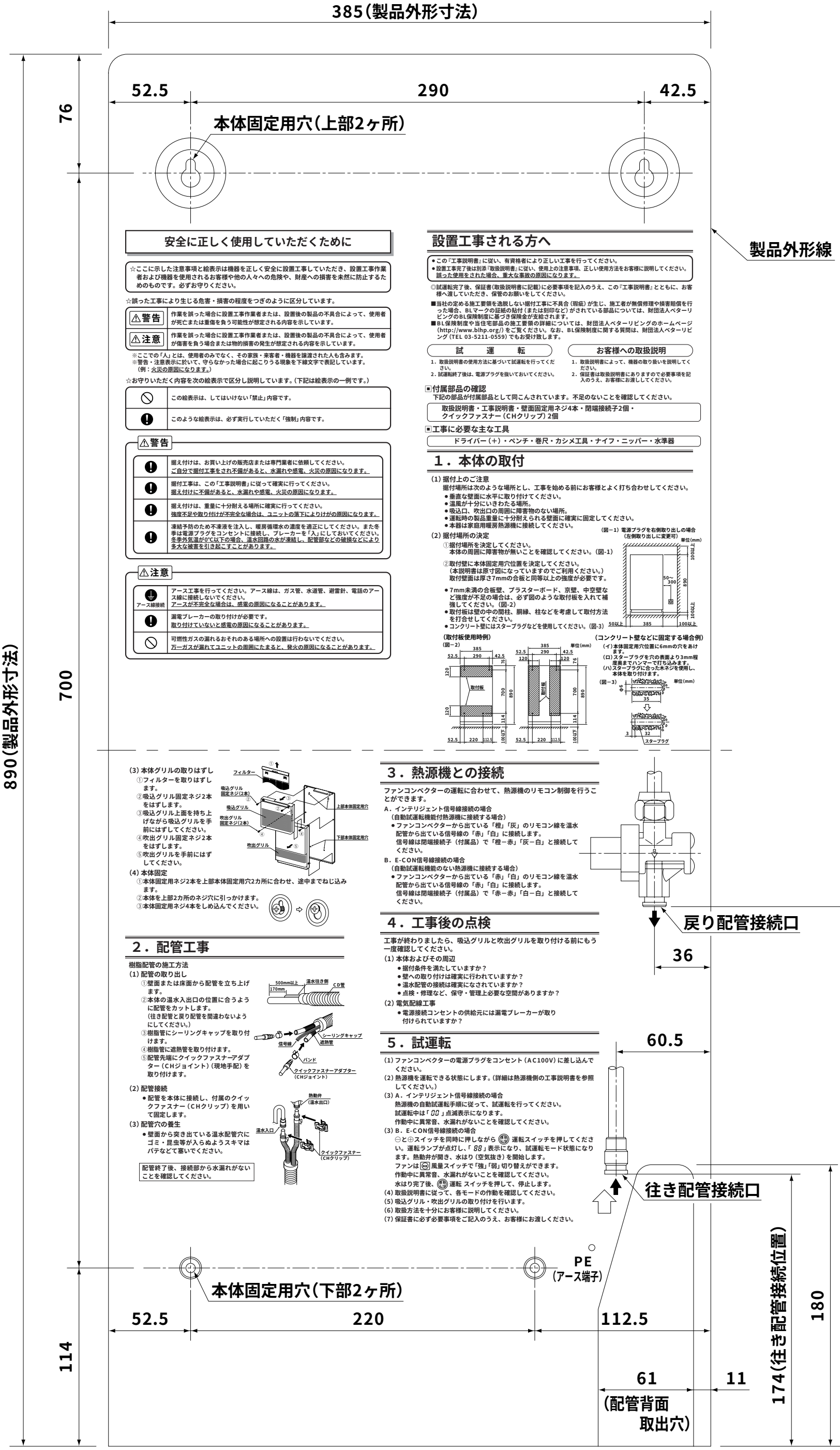
ファンコンベクター (壁掛型) FC-1501A (BH-1701AVS-RT) FC-2000A (BH-2301AVS-RT) 工事説明書 (原寸図)

(本書を型紙として使用してください。)

型式名
FC1501A FC2001A



安全に正しく使用していただくために

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事作業者および機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った工事により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。

⚠警告	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を下線文字で表記しています。
(例：火災の原因になります。)

☆お守りいただく内容を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

❗	据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
❗	据付工事は、この「工事説明書」に従って確実に行ってください。 据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
❗	据え付けは、重量に十分耐える場所に確実に行ってください。 強度不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下によりけがの原因になります。
❗	凍結予防のため不凍液を注入し、暖房循環水の濃度を適正にしてください。また冬季は電源プラグをコンセントに接続し、ブレーカーを「入」にしておいてください。 冬季外気温が0℃以下の場合、温水回路の水が凍結し、配管部などの破損などにより多大な被害を引き起こすことがあります。

⚠注意

アース線接続	アース工事を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
❗	漏電ブレーカーの取り付けが必要です。 取り付けていないと感電の原因になることがあります。
⃠	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

設置工事される方へ

- この『工事説明書』に従い、有資格者により正しい工事を行ってください。
- 設置工事完了後は別添『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明してください。
誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

◎試運転完了後、保証書(取扱説明書に記載)に必要事項を記入のうえ、この『工事説明書』とともに、お客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

■当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(または刻印など)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
■BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.blhp.org/)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング(TEL 03-5211-0559)でもお受け致します。

試運転
1. 取扱説明書の使用方法に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後は、電源プラグを抜いておいてください。

お客様への取扱説明
1. 取扱説明書によって、機器の取り扱いを説明してください。
2. 保証書は取扱説明書にありますので必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ししてください。

▣付属部品の確認
下記の部品が付属部品として同こんされています。不足のないことを確認してください。
取扱説明書・工事説明書・壁面固定用ネジ4本・閉端接続子2個・クイックファスナー(CHクリップ)2個

▣工事に必要な主な工具
ドライバー(+)・ペンチ・巻尺・カシメ工具・ナイフ・ニッパー・水準器

1．本体の取付

(1) 据付上のご注意
据付場所は次のような場所とし、工事を始める前にお客様とよく打ち合わせしてください。
- 垂直な壁面に水平に取り付けてください。
- 温風が十分にいきわたる場所。
- 吸込口、吹出口の周囲に障害物のない場所。
- 運転時の製品重量に十分耐えられる壁面に確実に固定してください。
- 本器は家庭用暖房熱源機に接続してください。

(2) 据付場所の決定
①据付場所を決定してください。
本体の周囲に障害物が無いことを確認してください。(図-1)

②取付壁に本体固定用穴位置を決定してください。
(本説明書は原寸図になっていますのでご利用ください。)
取付壁面は厚さ7mmの合板と同等以上の強度が必要です。
- 7mm未満の合板壁、プラスターボード、京壁、中空壁など強度が不足の場合は、必ず図のような取付板を入れて補強してください。(図-2)
- 取付板は壁の中の間柱、胴縁、柱などを考慮して取付方法を打合せしてください。
- コンクリート壁にはスタープラグなどを使用してください。(図-3)

(図－1) 電源プラグを右側取り出しの場合 (左側取り出しに変更可)

(取付板使用時例) (図－2)

(コンクリート壁などに固定する場合例)
(イ)本体固定用穴位置に6mmの穴をあけます。
(ロ)スタープラグを穴の表面より3mm程度奥までハンマーで打ち込みます。
(ハ)スタープラグに合った木ネジを使用し、本体を取り付けます。

(図－3)

(3) 本体グリルの取りはずし
①フィルターを取りはずします。
②吸込グリル固定ネジ2本をはずします。
③吸込グリル上面を持ち上げながら吸込グリルを手前にはずしてください。
④吹出グリル固定ネジ2本をはずします。
⑤吹出グリルを手前にはずしてください。

(4) 本体固定
①本体固定用ネジ2本を上部本体固定用穴2カ所に合わせ、途中までねじ込みます。
②本体を上部2カ所のネジ穴に引っかけます。
③本体固定用ネジ4本をしめ込んでください。

2．配管工事

樹脂配管の施工方法
(1) 配管の取り出し
①壁面または床面から配管を立ち上げます。
②本体の温水入出口の位置に合うように配管をカットします。
(往き配管と戻り配管を間違わないようにしてください。)
③樹脂管にシーリングキャップを取り付けます。
④樹脂管に遮熱管を取り付けます。
⑤配管先端にクイックファスナーアダプター(CHジョイント)(現地手配)を取り付けます。

(2) 配管接続
- 配管を本体に接続し、付属のクイックファスナー(CHクリップ)を用いて固定します。

(3) 配管穴の養生
- 壁面から突き出ている温水配管穴にゴミ・昆虫等が入らぬようスキマはパテなどで塞いでください。

配管終了後、接続部から水漏れがないことを確認してください。

3．熱源機との接続

ファンコンベクターの運転に合わせて、熱源機のリモコン制御を行うことができます。

A．インテリジェント信号線接続の場合
(自動試運転機能付熱源機に接続する場合)
- ファンコンベクターから出ている「橙」「灰」のリモコン線を温水配管から出ている信号線の「赤」「白」に接続します。
信号線は閉端接続子(付属品)で「橙－赤」「灰－白」と接続してください。

B．E-CON信号線接続の場合
(自動試運転機能のない熱源機に接続する場合)
- ファンコンベクターから出ている「赤」「白」のリモコン線を温水配管から出ている信号線の「赤」「白」に接続します。
信号線は閉端接続子(付属品)で「赤－赤」「白－白」と接続してください。

4．工事後の点検

工事が終わりましたら、吸込グリルと吹出グリルを取り付ける前にもう一度確認してください。
(1) 本体およびその周辺
- 据付条件を満たしていますか？
- 壁への取り付けは確実に行われていますか？
- 温水配管の接続は確実になされていますか？
- 点検・修理など、保守・管理上必要な空間がありますか？

(2) 電気配線工事
- 電源接続コンセントの供給元には漏電ブレーカーが取り付けられていますか？

5．試運転

(1) ファンコンベクターの電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込んでください。
(2) 熱源機を運転できる状態にします。(詳細は熱源機側の工事説明書を参照してください。)
(3) A．インテリジェント信号線接続の場合
熱源機の自動試運転手順に従って、試運転を行ってください。
試運転中は「 88 」点滅表示になります。
作動中に異常音、水漏れがないことを確認してください。
(3) B．E-CON信号線接続の場合
⊖と⊕スイッチを同時に押しながら 運転スイッチを押してください。運転ランプが点灯し、「 88 」表示になり、試運転モード状態になります。熱動弁が開き、水はり(空気抜き)を開始します。
ファンは 風量スイッチで「強」「弱」切り替えができます。
作動中に異常音、水漏れがないことを確認してください。
水はり完了後、 運転 スイッチを押して、停止します。
(4) 取扱説明書に従って、各モードの作動を確認してください。
(5) 吸込グリル・吹出グリルの取り付けを行います。
(6) 取扱方法を十分にお客様に説明してください。
(7) 保証書に必ず必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。